

令和２年１２月８日、全議員から通告の取下げの申し出があり、議長の下で許可されました

第７回沼津市議会定例会

一般質問

＊ 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を１回目に行い、答弁に対する再質問として２回目及び３回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って１回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：１回目は一括質問一括答弁方式で行い、２回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和２年１２月７日、８日、９日

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
1	2 番 村 木 豊 ＊一括方式	1 臨時休校時の小中学校の対応について (1) 家庭学習教材の配付及び学習状況の把握 (2) 形を変えて開催した小中学校卒業式の評価 (3) 児童生徒の安否確認結果とその評価 (4) 児童生徒の学習の遅れに対する認識と対策 (5) 沼津寺子屋開催事業と地域の取組に対する評価 2 G I G A スクール構想の本市の対応について (1) 学習端末の運用方法 (2) 学習端末を利用した I C T 教育の目標 (3) 学習端末を特別支援分野で活用する考え (4) I C T 教育を担う教職員のスキルアップ計画 (5) I C T 教育を支えるために学校を支援する体制 (6) 本市所有の文化資源をデジタル化する考え	教 育 長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
2	1 番 浅 田 美重子 *一括方式	1 持続可能な図書館運営について (1) 休館後の利用者の状況と、コロナ禍での図書館機能維持の取組 (2) 電子書籍導入の効果と課題 (3) 学校図書館等との連携 (4) 多様化したサービスに応じた職員の資質向上策 2 「主体的・対話的で深い学び」を推進するための取組について (1) 特別な配慮を必要とする児童生徒に係る理解啓発の推進 ① 小中学校における理解啓発活動の現状とその課題 ② 青少年教育センター、教職員研修センターでの取組 (2) 学力・学習状況調査について ① 学力・学習状況調査の実施状況と課題 ② 学力と非認知能力向上のための取組 ③ 新形式の学力・学習状況調査の導入	市 長 教 育 長 関係部長
3	8 番 霞 恵 介 *一括方式	1 教育行政について (1) 入院療養時の学習支援について ① 院内学級（病弱・身体虚弱特別支援学級）の設置医療機関と在籍人数 ② 対象児童生徒の入級の条件と入級学年の範囲 ③ 入院療養時の学習支援の現状と今後の具体的な取組 (2) 発達障害児支援について ① 小中学校における早期発見・早期対応への取組と幼稚園・保育園との連携及び現状 ② 増加傾向にある発達障害児への教育施策 ③ 小中学校間の特別支援教育コーディネーターの連携 2 新生児聴覚スクリーニング事業について (1) 新生児聴覚検査について ① 本市の検査実施状況（出生数・受診者数）と未受診の理由と保護者への対応 ② 受診率向上へ向けた取組と受診費用への対策 ③ 要再検児の保護者への支援・指導	市 長 教 育 長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
4	23番 梶 泰 久 *一括方式	1 予防接種の再接種助成について (1) 予防接種の再接種に対する助成の制度化 2 地域防犯ボランティアの人材確保について (1) 地域防犯ボランティアの確保に向けた取組 (2) 青色防犯パトロールへの協力 3 青少年のスポーツ施設利用促進策について (1) スポーツ施設使用料金の見直し	市 長 関係部長
5	24番 渡 部 一二実 *一括方式	1 本市の押印廃止（脱ハンコ）へ向けた取組状況について (1) 経済4団体が主張したテレワークの障害となる行政手続の規制・制度等（書面主義・押印原則・対面主義）の見直しに関する認識について (2) 市の業務に係る文書への押印の必要性及び押印廃止の取組について ① 市民から提出される文書 ② 市長印等の公印を押印する文書 ③ 決裁文書等の内部文書 (3) 近未来の完全電子申請への対応について 2 本市水道事業への水道スマートメーター導入について (1) 水道スマートメーターに関する認識について ① スマートメーター導入のメリットとデメリット ② 他市のスマートメーター導入状況 ③ スマートメーター導入を阻害している要因 (2) 水道スマートメーター設置のコスト削減策に関する認識について ① 厚生労働省の交付金の有効活用 ② 他の水道事業者との広域連携 ③ 電気・ガス事業者との共同検針 (3) 中長期的視点に立った水道スマートメーター導入の可能性について	市 長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
6	25番 渡 邊 博 夫 *一括方式	1 本市小中学校における「w i t h コロナ」下の学校運営について (1) 学校運営の現状と対応について (2) 児童生徒及び教職員の心身の状況について (3) 長期化を見据えた今後の学校運営方針について 2 本市の行財政運営を取り巻く現状と課題について (1) 多様な課題に対応した行政運営について ① 国連が掲げる持続可能な開発目標（S D G s）の推進 ② ダイバーシティー（多様性）の推進 ③ デジタル技術の活用 (2) 財政運営の現状と課題について ① 財政状況の分析と財政の健全性 ② 財政運営上の課題とその対応 (3) 新型コロナウイルス感染症の影響とその対応について	市 長 教 育 長 関係部長
7	11番 井 原 三千雄 *一括方式	1 愛鷹山麓の新たなステージと今後の展望について (1) 愛鷹山麓の沼津の宝としての認識と農業の現状について ① 愛鷹山麓の資産についての認識 ② 愛鷹山麓のお茶を中心とした農業の現状 (2) 産業集積検討区域の土地利用の取組と今後の方向性について ① 計画する産業集積検討区域の土地利用についての考え方 ② 同地域に予定されている都市計画道路片浜池田線など道路整備への取組 (3) 愛鷹山麓の都市基盤整備と将来像について ① 多くの重要な都市基盤整備事業が計画されている愛鷹山麓及び周辺地域におけるまちづくりの今後の展望 ② 第5次沼津市総合計画の計画期間である10年後の愛鷹山麓の将来像	市 長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
8	10番 市 川 道 隆 *一括方式	1 新中間処理施設整備について (1) 沼津市新中間処理施設整備基本計画の見直しについて ① 令和2年度の取組内容とその進捗状況 (2) 新中間処理施設整備に向けて ① 今後の取組内容 ② 今後のスケジュール (3) 新中間処理施設の活用について 2 本市のM I C E 事業について (1) プラサヴェルデの利用状況及びM I C E による地域経済への波及効果 (2) コロナ禍における催事等のキャンセルに伴うプラサヴェルデの指定管理者や利用者に対する本市の対応 (3) 大規模イベントや会議等の誘致に向けた今後の取組及びM I C E 産業に対する認識	市 長 関係部長
9	5 番 小 泉 宣 子 *一括方式	1 子供の教育の充実について (1) 学校教育 ① 小中学校における各種支援員 ア 配置数と活用状況 イ 効果と課題への認識 ② 特別支援教育 ア 教員のスキル向上とサポート体制 ③ 不登校児童生徒 ア 実態と進路状況 イ 進路未決定児童生徒へのサポート ④ スクールソーシャルワーカー ア 配置数と活用状況 イ 効果と課題への認識	市 長 教 育 長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
1 0	20番 長 田 吉 信 *一括方式	1 国の進める行政手続の見直しについて (1) 行政手続における押印廃止と書面主義の見直しについて ① 押印についての認識 ② 押印廃止に対する認識 ③ 押印廃止と書面主義の見直しに対する取組 (2) デジタル化によるオンライン申請の推進について ① デジタル化によるオンライン申請についての認識 ② マイナポータルぴったりサービスの活用 2 誰もが安心して暮らせる居住支援について (1) 生活困窮者自立支援制度における住居確保給付金の認識 (2) 住宅セーフティネット制度の活用 (3) 居住支援の取組	市 長 関係部長
1 1	15番 梅 沢 弘 *一問一答	1 市長の政治姿勢について (1) 鉄道高架事業の見直しについて ① 鉄道高架訴訟の本質的要因 ② 頼重市長と川勝知事の面談と知事発言 ③ 新聞社社説の示唆に対する認識 ④ 政府税制調査会委員の知見に対する見解 (2) 本市の移住政策について (3) 本市のPCR検査体制について (4) 災害用トイレ問題について	市 長 関係部長
1 2	3 番 平 野 謙 *一問一答	1 コロナ禍における障害者の就労支援について (1) 現状の認識 (2) 工賃向上のための取組 ① 障害者優先調達推進法の実績と認識、今後の目標 ② 市施設の積極的な活用 (3) 各部局との連携 2 年末年始の生活困窮者に対する支援体制について (1) 現状の認識 (2) 市役所閉庁時の相談体制 (3) 民間団体との連携	市 長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
1 3	16番 岡 田 進 一 *一括方式	1 沼津海浜訓練場（今沢基地）の使用における課題と本市の基本的認識について (1) 令和2年10月及び11月の今沢基地の使用状況と、本市の対応 (2) 訓練による近隣住民や漁業者等への影響 (3) 訓練の市民への周知と、本市の基本的認識	市 長 関係部長
1 4	28番 川 口 三 男 *一括方式	1 コロナ禍の下、新しい生活様式と少子化を見据えた、本市の教育行政の在り方について (1) コロナ禍における教育水準の確保 (2) G I G Aスクール構想の実現に向けた具体的な取組内容 (3) 20人学級の実現に向けた取組 (4) 教師の不祥事再発防止策と、その取組内容 (5) 新しい生活様式に基づく、特色ある教育を推進するための財源確保の認識	市 長 教 育 長
1 5	18番 山 下 富美子 *複合	1 犯罪被害者等支援条例の必要性について (1) 沼津市の犯罪状況の県内他市町との比較について ① 刑法犯認知件数 ② 重要犯罪の動向 ③ 犯罪実態の背景 (2) 他市の犯罪被害者等支援条例の現状と取組について (3) 犯罪被害者等への支援と課題について (4) 沼津市における条例制定の取組について 2 子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）における問題点と対応について (1) HPVワクチンの現状と課題について ① 副反応被害者の実情 ② HPVワクチンのリスクと有効性 ③ 副反応被害への治療法や医療機関の体制 ④ 被害者への補償及び公的救済策 (2) 国のスタンスと自治体の対応について ① 国の通知に対する考え方 ② 自治体における対応状況 (3) 沼津市における対応について	市 長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求める者
1 6	4 番 大 場 豪 文 *一括方式	1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 対策本部会議について (2) 市民への情報提供について ① ホームページ ② 広報ぬまづ (3) 市役所内における対策について (4) 今後の対策について ① 職員が感染しないための対策 ② 職員が感染した場合の対応	市 長 関係部長